

**第 6 5 回 東 海 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会 水 泳 競 技  
兼 第 5 1 回 東 海 高 等 学 校 選 手 権 水 泳 競 技  
兼 第 8 6 回 日 本 高 等 学 校 選 手 権 水 泳 競 技 大 会 東 海 地 区 予 選 会**

**要 項**

1. 主 催 (公財) 日本水泳連盟、東海高等学校体育連盟  
静岡・岐阜・三重・愛知 各県教育委員会  
名古屋市、名古屋市教育委員会  
東海4県水泳連盟連絡協議会
2. 主 管 愛知県高等学校体育連盟、(一社) 愛知水泳連盟
3. 後 援 (公財) 愛知県体育協会
4. 協 賛 官公学生服株式会社
5. 期 日 【競泳】平成30年7月20日(金)・21日(土)・22日(日)  
【飛込】平成30年7月22日(日)  
【水球】平成30年7月21日(土)・22日(日)
6. 場 所 【競泳・飛込】  
日本ガイシアリーナ  
名古屋市南区東又エ町5丁目1番地の5 電話 052 - 614 - 6211  
【水球】  
愛知県口論義運動公園屋内温水プール  
日進市北新町西口論義323-8 電話 0561-73-8959
7. 競技方法 (公財) 日本水泳連盟競技規則による。  
競泳・飛込 男女別学校対抗  
水 球 予選トーナメント、決勝リーグ戦方式

## 8. 種 目

### (1) 競 泳

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
背 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
平 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
バ タ フ ラ イ	100m 200m	100m 200m
個人メドレー	200m 400m	200m 400m
フリーリレー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
メドレーリレー	4×100m	4×100m

(注1) 予選はタイムレースとし、決勝は各10名(10チーム)で行い、2名(チーム)の補欠をとる。

(注2) 決勝進出において、同記録で定員より増加した場合は、スイムオフを行う。

但し、自由形800m・1500m・4×200mフリーリレーは抽選とする。リレーのスイムオフは予選競技と同じメンバーが同じ泳順で泳ぐこと。

(注3) スイムオフでの標準記録突破は認められない。

(注4) 競技は予選8レーン、決勝10レーンとする。

### (2) 飛 込

#### 【男子】

#### ① 飛板飛込(3m) 11種目

制限選択飛5種目(各群より、難易率合計9.5以内)

自由選択飛6種目(各群より、ただし、この内1種目はいずれの群より選択してもよい。)

#### ○ 競技方法

決 勝 11種目 制限選択飛5種目、自由選択飛6種目

#### ② 高飛込10種目

制限選択飛4種目(異群より、難易率合計7.6以内)

自由選択飛6種目(各群より)

#### ○ 競技方法

決 勝 10種目 制限選択飛4種目、自由選択飛6種目

(注) すべての決勝における順位は決勝の得点合計による。

#### 【女子】

#### ① 飛板飛込(3m) 10種目

制限選択飛5種目(各群より、難易率合計9.5以内)

自由選択飛5種目(各群より)

#### ○ 競技方法

決 勝 10種目 制限選択飛5種目、自由選択飛5種目

② 高 飛 込 9種目

制限選択飛 4種目 (異群より、難易率合計7.6以内)

自由選択飛 5種目 (各群より)

○ 競技方法

決 勝 9種目 制限選択飛 4種目、自由選択飛 5種目

(注) すべての決勝における順位は決勝の得点合計による。

(3) 水 球

○ 抽選方法

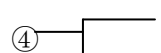
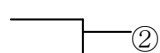
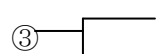
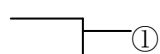
(予選トーナメント)

[1] A県の1位

[5] A県以外の2位

[2] B県の1位

[6] B県以外の2位



(決勝リーグ)

⑤ ①の勝者 対 ②の勝者

⑥ ③の勝者 対 ④の勝者

⑦ ①の勝者 対 ④の勝者

⑧ ②の勝者 対 ③の勝者

⑨ ①の勝者 対 ③の勝者

⑩ ②の勝者 対 ④の勝者

1. [1]～[4]までを各県1チームにて抽選を行う。
2. [5]～[8]は、1の結果をみて同一県チームが同一ブロックとならないよう配慮して抽選を行う。
3. 前年度実績によるシードは行わない。
4. 敗者戦を設定する。(リーグ戦における連続出場を避けるため)
5. 競技日程

第1日	第2日
①	⑦ 決勝リーグ
②	⑧ 〃
③	敗者戦 ①対②
④	敗者戦 ③対④
⑤ 決勝リーグ	⑨ 決勝リーグ
⑥ 〃	⑩ 〃

※ 競技時間は、全国高校総体に準ずる。

備 考

- (1) 参加チームが6チームないし7チームの場合は、いずれかの県の1位チームは、抽選により予選トーナメントは不戦勝とする。
- (2) 参加チームが5チーム以下の場合は、総当りリーグ戦とする。

## 9. 申込規定

### (1) 資 格

- ① (公財) 日本水泳連盟登録選手に限る。
- ② 各県高等学校体育連盟に加入している高等学校生徒で平成11年(1999年)4月2日以降に生まれた全日制および定時制、通信制課程の生徒に限る。但し、休学中・留学中の生徒は除く。  
なお、第1学年を除き、在学1年未満の者、同一年で一度出場したものは申し込むことができない。出場は同一競技3回まで。第1学年でも学年の途中で編入した者は申し込めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校体育連盟会長の認可があれば、この限りでない。
- ③ 同一学校でも全日制、定時制、通信制は別の学校として申し込む。
- ④ 地方予選会(県大会)の成績で、各種目8位までの入賞者、および、9位以下であっても日本高等学校選手権大会の標準記録を突破した選手は、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。ただし、決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。  
なお、男子1500m自由形・女子800m自由形については8位までの入賞者、および下記の標準記録を突破しなければ出場できない。

標準記録 1500m自由形 20:00.00 800m自由形 11:00.00

- ア フリーリレーは個人種目出場者を含め6名(補欠2名まで)を申し込むことができる。
- イ メドレーリレーは個人種目出場者を含め8名(補欠4名まで)を申し込むことができる。但し、競技の際は個人種目または他のリレー種目に出場する者に交代させることができる。(全国総体については、この限りではない)
- ウ ランキング表及びプログラムの組合せは、県大会における、予選、決勝の良い方のタイムで作成する。
- ⑤ 飛込は各県水泳連盟の推薦を経て申し込む。
  - ⑥ 水球は各県から2チームまで各県水泳連盟の承認を経て申し込む。
  - ⑦ 上記条件を満たした者で、学校長が出場を認めた者。

### (2) 制 限

- ① 競泳・飛込は1校1種目3名以内、1人2種目以内。(ただし、リレー種目を除く)
- ② 水球は1チーム監督1名、選手13名とする。

### (3) 申込方法(各様式は愛知県高体連ホームページにデータ・リンク先があります。)

<http://www.aichi-koutairen.jp/>

様式① 「競技種目別参加選手一覧表」 各県別に男女各2通

様式② 「学校長出場認知書・学校別出場種目一覧」  
学校別・男女別・種別(競泳・水球・飛込)に各1通

様式③ 「宿泊申込書」(各学校で申込書をFAXで近畿日本ツーリストに送信。)  
FAX 06-6535-8648

様式④ 「県別・種目別参加選手数一覧」 各県に1通

様式⑤ 「県別 参加料・プログラム代金納入一覧表」 各県に1通

(注1) 様式①・④・⑤は各県専門部が作成し開催県に提出する。

(注2) 様式②・③は参加校が作成し、②は各県水泳専門部へ提出。③は申し込み方法に従い申し込む。

(注3) 様式①・②はこれとは別に各々1通ずつを日本水泳連盟へ各県まとめて送付のこと。

(様式②については水球・飛込のみ)

(注4) 様式②については男子用・女子用を使用する。

(注5) 飛込競技種目申込手續について

飛込競技参加者は「飛込演技種目申込用紙」を自分が行おうとする飛込の群・番号・名称及び型・飛板または台の高さ、難易率を記入して、当該競技の前日12時00分から15時00分までの間に飛込プールサイドの“種目申込用紙受付箱”に投函すること。

(4) 参加料

参加者1人につき1,600円を申込みと同時に納入のこと。水球は1チーム15,000円。  
(各県高体連で一括して納入)

(5) 申込期限と場所

平成30年7月6日(金) 午前10時(各県高体連委員長が一括して申込み)  
日本ガイシアリーナ 会議室

10. 選手権校の決定

(1) 競 泳

各種目1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は、1位16点、2位14点……8位が2点とする。同着の場合は、次の順位を欠位とし、得点は欠位のものを加え等分した得点をそれぞれに与える。得点の最も多い学校を優勝校とし、総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ① リレー種目による得点の多い学校
- ② 入賞者の多い学校(但し、リレー種目は4と計算する)
- ③ 1位の数
- ④ 2位の数(以上8位までこれにならう)

(2) 飛 込

各種目1位8点、2位7点……8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ① 入賞者の多い学校
- ② 1位の数
- ③ 2位の数(以上8位までこれにならう)
- ④ 当該入賞者の評点の平均点が多い者(評点の平均値は小数第2位まで算出する。但し、小数第3位は四捨五入とする)
- ⑤ 当該入賞者の評点の中で最も高い数値を得た者

(3) 水 球

優勝校(但し、リーグ戦で勝ち点と同じ場合は監督会議で決定された方法による)

11. 表 彰

- (1) 優勝校に優勝旗と賞状、3位まで賞状を与える。
- (2) 種目別優勝者に賞品と賞状、3位まで賞状を与える。

12. 宿 泊

別記要項による。

13. 日本高等学校選手権水泳競技大会への参加資格

本大会における以下の成績の者またはチームは、高体連および加盟団体の推薦を得て全国大会に出場ができる。なお、全国大会への申込は、地域大会に申込をした者に限る。

(1) 競 泳

- ① 各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。
- ② 予選、決勝を問わず全国大会標準記録を突破した選手、またはチーム。同タイムも含む。  
(リレー競技の第1泳者および1500m自由形の800mにおける正式時間は含まない。)

【①、②の確認事項】

注1 都府県大会の記録で出場は認められない。

注2 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注3 フリーリレー、メドレーリレーは、地域大会において予選・決勝・予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補欠1名を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注4 全国大会のエントリータイムは、予選、決勝のうち速いタイムとする。

③ 各都府県特別措置

地域大会において全国大会の出場資格を得なかった各都府県は、最低男女各1名を1種目のみ、出場資格者として高体連および加盟団体で推薦することができる。

また、出場資格は男女にまたがっていない場合は、欠けている方について1名1種目の推薦を認める。

注1. 推薦は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200mおよび200m個人メドレー、50m自由形の種目で、地域大会において全国標準記録に最も近い記録をマークした者とする。

注2. 悪天候(雷・豪雨・暴風)や不測の事態によりレースを中断する場合がある。また、レース時間の繰上げやタイムレース決勝にする場合もある。レースを中止した場合は、各県総体予選の結果をもとに全国大会出場を認める。

○ 標準記録

種 目		男 子	女 子
自 由 形	50m	24.40	27.25
〃	100m	52.85	58.81
〃	200m	1:55.31	2:06.43
〃	400m	4:04.65	4:25.61
〃	800m	—————	9:11.13
〃	1500m	16:16.25	—————
背 泳 ぎ	100m	59.03	1:04.88
〃	200m	2:08.74	2:19.16
平 泳 ぎ	100m	1:04.75	1:13.24
〃	200m	2:19.68	2:36.50
バ タ フ ラ イ	100m	56.26	1:02.89
〃	200m	2:04.39	2:18.19
個 人 メ ド レ ー	200m	2:08.69	2:22.63
〃	400m	4:33.44	5:03.14
フ リ ー リ レ ー	400m	3:36.31	4:02.26
〃	800m	7:52.81	8:49.61
メ ド レ ー リ レ ー	400m	3:56.68	4:26.16

(2) 飛 込

各種目、男女とも下記標準点数を突破した者（同点も可）

標準得点

○ 飛板飛込		標準点数
男子	3m飛板飛込（11種目）	323.00
女子	3m飛板飛込（10種目）	285.00
○ 高飛込		標準点数
男子	高飛込（10種目）	288.00
女子	高飛込（9種目）	260.00

(3) 水 球

優勝校及び2位のチーム

(4) 全国大会特別出場措置を適用する場合は各県委員長に申し出る。

14. 開 会 式

(1) 日 時	競泳	平成30年7月21日（土）午前9時30分
	水球	平成30年7月21日（土）午前9時
	飛込	平成30年7月22日（日）午前8時45分

(2) 場 所	競泳・飛込	日本ガイシアリーナ
	水球	愛知県口論義運動公園屋内温水プール

(3) 参加者	各県選手団（スタンドで起立して参加すること） （水球はプールサイドに整列して参加すること）
---------	--

15. 監督者会議

(1) 日 時	競泳	平成30年7月20日（金）10時30分
	飛込	平成30年7月21日（土）15時00分
	水球	平成30年7月20日（金）16時00分

(2) 場 所	競泳	日本ガイシフォーラム レセプションホール
	飛込	日本ガイシアリーナ 小会議室
	水球	愛知県口論義運動公園屋内温水プール 会議室

16. 大会期間中の本部

競泳・飛込	日本ガイシアリーナ
水球	愛知県口論義運動公園屋内温水プール
その他	各県水泳専門委員長へ連絡する。

17. 競技順序

第1日		監督者会議	10:30	
		競技開始	12:00	
1	女子	4×100m	メドレーリレー	予選
2	男子	4×100m	メドレーリレー	予選
3	女子	800m	自由形	予選
4	女子	50m	自由形	予選
5	男子	50m	自由形	予選
6	男子	1500m	自由形	予選
7	女子	4×100m	メドレーリレー	決勝
8	男子	4×100m	メドレーリレー	決勝
第2日		開会式	9:30	
		競技開始	10:00	
9	女子	4×100m	フリーリレー	予選
10	男子	4×100m	フリーリレー	予選
11	女子	200m	バタフライ	予選
12	男子	200m	バタフライ	予選
13	女子	200m	背泳ぎ	予選
14	男子	200m	背泳ぎ	予選
15	女子	400m	個人メドレー	予選
16	男子	400m	個人メドレー	予選
17	女子	200m	自由形	予選
18	男子	200m	自由形	予選
19	女子	200m	平泳ぎ	予選
20	男子	200m	平泳ぎ	予選
21	女子	50m	自由形	決勝
22	男子	50m	自由形	決勝
23	女子	800m	自由形	決勝
24	男子	1500m	自由形	決勝
25	女子	200m	バタフライ	決勝
26	男子	200m	バタフライ	決勝
27	女子	200m	背泳ぎ	決勝
28	男子	200m	背泳ぎ	決勝
29	女子	200m	自由形	決勝
30	男子	200m	自由形	決勝
31	女子	400m	個人メドレー	決勝
32	男子	400m	個人メドレー	決勝
33	女子	200m	平泳ぎ	決勝
34	男子	200m	平泳ぎ	決勝

35	女子	4×100m	フリーリレー	決勝
36	男子	4×100m	フリーリレー	決勝

第3日		競技開始	9:30	
37	女子	4×200m	フリーリレー	予選
38	男子	4×200m	フリーリレー	予選
39	女子	100m	平泳ぎ	予選
40	男子	100m	平泳ぎ	予選
41	女子	100m	バタフライ	予選
42	男子	100m	バタフライ	予選
43	女子	100m	自由形	予選
44	男子	100m	自由形	予選
45	女子	400m	自由形	予選
46	男子	400m	自由形	予選
47	女子	200m	個人メドレー	予選
48	男子	200m	個人メドレー	予選
49	女子	100m	背泳ぎ	予選
50	男子	100m	背泳ぎ	予選
51	女子	100m	平泳ぎ	決勝
52	男子	100m	平泳ぎ	決勝
53	女子	100m	バタフライ	決勝
54	男子	100m	バタフライ	決勝
55	女子	100m	自由形	決勝
56	男子	100m	自由形	決勝
57	女子	400m	自由形	決勝
58	男子	400m	自由形	決勝
59	女子	200m	個人メドレー	決勝
60	男子	200m	個人メドレー	決勝
61	女子	100m	背泳ぎ	決勝
62	男子	100m	背泳ぎ	決勝
63	女子	4×200m	フリーリレー	決勝
64	男子	4×200m	フリーリレー	決勝

閉会式  
 (飛込)  
 男子・女子 高飛込 10:00  
 男子・女子 飛板飛込 13:00



## 17. 申込記入上の注意事項

- (1) 楷書で記入し、押印する。
- (2) 様式②のプログラムに記載する学校名略字は下記の注意事項にならって記入する。

注1. 学校名は6文字以内に略して記入する。

(例) 愛知産業大学三河高校 → 愛産大三河

愛知みずほ大学瑞穂高校 → 愛み大瑞穂

注2. 学校名に地名がついている場合は、地名を略さないこと。

(例) 浜北 → 浜松北            四高 → 四日市

注3. 高等学校の「高」の字は記入しない。

(例) 関高 → 関                神戸高 → 神戸

注4. 大学付属の学校は「大」を略さない事。

(例) 帝京可児 → 帝京大可児

- (3) 様式②の登録団体CDは、従来からの加盟団体番号の2桁と登録団体番号の3桁をつないだ5桁の番号を記入する。

## 18. 救急処置・貴重品管理

大会当日、競技中に選手が負傷した場合は、主催者側が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。貴重品の管理は各学校で行う事。更衣室のロッカーの占有使用はできません。

## 19. その他

- (1) 大会期間中の競泳会場の開門は7月20日(金)9時00分、7月21日(土)、22日(日)7時30分とする。(飛込・水球競技・練習プール・控え室利用時間については後日連絡する)
- (2) プログラムは監督へ1部と選手用として1部無料配布をする。それ以上必要な場合は、有料とする。参加申込と同時に別紙により必要部数と現金を添えて申し込むこと。
- (3) 前年度優勝校は、必ず優勝旗を持参すること。  
(本年度不参加の場合は、その該当する県で責任を持って返還すること)
- (4) 部旗は各校1枚とし、縦140cm、横210cm程度とする。掲示場所は後日各県委員長を通じて連絡をする。
- (5) 各県・各学校の控え場所は指定とする(各県委員長の指示)。早朝からの並び、指定場所以外の場所取りはできません。ゴミ処理については、持ち帰りを原則とする。
- (6) 会場へのアクセスは各会場ホームページを参照のこと。